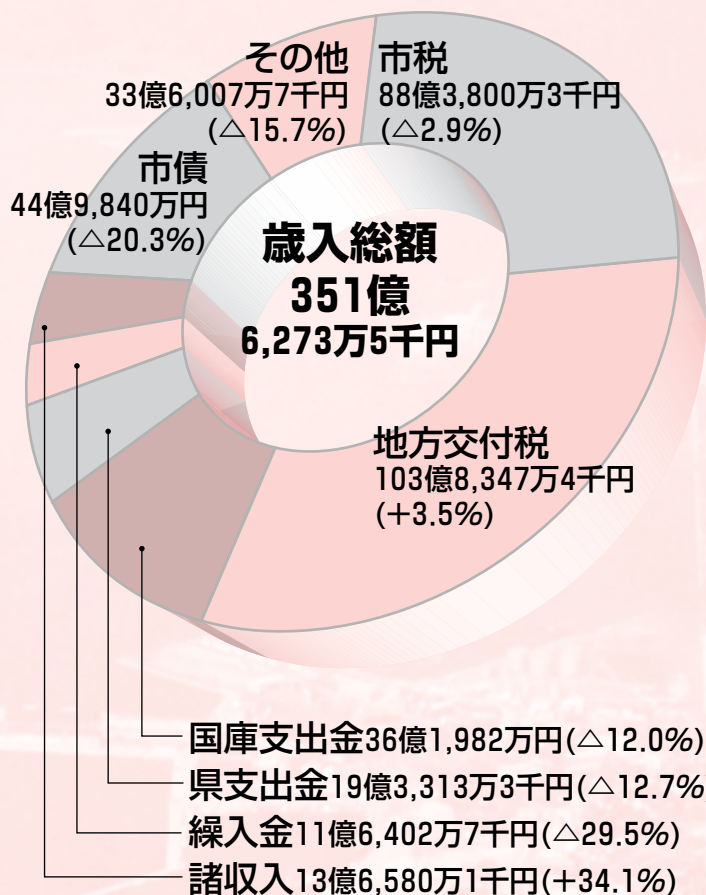


# 平成17年度決算のあらまし

## 会計

※ ( ) 前年比



平成17年度は、市民と共に創る「新生・元氣七尾」のテーマのもと、市民のみなさんが住みやすいまちになるように、都市基盤の整備や福祉、教育などさまざまなサービスを進めてきました。

歳入では、普通交付税において、合併前の旧団体として算定した額を合算する特例「合併算定替」の初年度でありました。また歳出では、地域イントラネット整備事業、市街地再開発事業、みなとふれあいスポーツセンター建設事業等に取り組みました。

地方財政をとりまく状況は、国の三位一体改革における、国庫補助・負担金の改革、税源移譲、交付税制度改革の影響を受け、ますます厳しい局面となるため、今後財政の健全化に向け行財政改革を積極的に推進し、さらなる行政コストの削減を図りながら財政基盤の安定を図ります。

市勢発展のため、市民のみなさんのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

### 基金の状況

・財政調整基金残高	11億5,527万5千円	(△17.5%)
・源債基金残高	8,838万4千円	(△56.1%)
・その他特定目的基金残高	6億6,109万6千円	(△39.9%)
計	19億475万5千円	(△29.5%)

### 平成17年度の目的税のつかいみち

#### 1. 入湯税

目的：温泉地であるために必要となる経費に充てるため

・ごみ処理など	3,006万円
・消防関係	397万8千円
・観光の振興（ソフト事業）	9,505万5千円
・観光施設の整備	1,016万7千円
計	1億3,926万円

#### 2 都市計画税

目的：都市計画事業を行うため

・都市計画街路	3億6,462万2千円
・下水道など	1億5,489万円
・公園	483万3千円
・土地区画整理	6,943万5千円
計	5億9,378万円

☎ 財政課  
☎ 53-8455